

令和7年5月20日に、津島市民病院から、看護師の確保が困難なため、高度急性期を維持できないと報告を受けましたが、今般、津島市民病院としては、重症度・医療・看護必要度がハイケアユニット入院医療管理料の施設基準を満たすことができず、維持が難しくなったので、HCU病棟（7床）と一般病棟（33床）を統合し、病床機能報告上は、急性期と報告したが、7床については、設備も人員もそのままであるので、高度急性期機能は、維持していると報告がありました。

なお、今年度の対面での協議の場としては、令和8年2月3日（火）に令和7年度第2回海部構想区域地域医療構想推進委員会を開催し必要に応じて津島市民病院よりご報告させていただきます。

病床機能報告上のルール

病床機能報告においては、病棟ごとに病床が担う医療機能を報告することになっています。各医療機関の判断で、4つの中（高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期機能）から1つを選択することになっています。

病床機能報告においては、病棟が担う医療機能をいずれか1つ選択して報告することとされていますが、実際の病棟には様々な病期の患者が入院していることから、当該病棟において最も多くの割合を占める患者に相当する機能を報告することが基本とされています。